

「Yahoo!ニュース」、新ソリューション「Yahoo!コンテンツディスカバリー」を発表

～ メディア企業のサイト回遊を促進し、トラフィック向上の機会を提供 ～

Yahoo! JAPANを運営するヤフー株式会社（東京都港区、代表取締役社長：宮坂学、以下、Yahoo! JAPAN）は本日、新たなソリューション「Yahoo!コンテンツディスカバリー」を「Yahoo!ニュース」のコンテンツパートナーであるメディア企業向けに提供する（※）ことを発表いたします。

「Yahoo!コンテンツディスカバリー」は、メディア企業をシームレスにつなぎ、ユーザーの興味関心、ソーシャルメディアでの話題性、閲覧している時間帯、デバイスなど、さまざまな要素を組み合わせた独自のアルゴリズムを用いて、ユーザーごとに最適なニュース記事をレコメンドするソリューションです。

近年、スマートデバイスからのアクセスによるインターネット利用者の拡大と、ソーシャルメディアの定着などにより、ニュースの閲覧に至るまでの経路は分散化する傾向が強くなっていきます。それにより、メディア企業は自社サイトでいかに多くの記事を閲覧してもらえるかが課題となっています。

メディア企業は「Yahoo!コンテンツディスカバリー」を自社サイトに導入することで、サイトを訪問したユーザーに対して、自社サイトの記事のなかから最適な記事をレコメンドすることが可能になり、それによりユーザーの回遊率の向上が期待できます。さらに「Yahoo!コンテンツディスカバリー」は、参画いただいたメディア企業のサイト同士をつないでネットワーク化するため、ユーザーの興味関心にあわせた記事をサイトをこえて提供できます。また、他社サイトに送客を行った際は、対価を獲得することが可能となります（図）。

なお今回、本ソリューションを提供するにあたり、Yahoo! JAPANはグローバルでの実績が豊富なコンテンツレコメンド技術を持つTaboola,Inc.（ニューヨーク、CEO：アダム・シングルダ、以下、タブーラ社）と業務提携をいたしました。2007年に創業し、現在はアメリカに本社を置くタブーラ社は、2014年5月現在、グローバルで月間表示回数1,300億のコンテンツレコメンドーションを提供しています。

「Yahoo!ニュース」は、日本最大級のインターネットニュース配信サイトとして、今後もユーザーが多様なニュースに接する機会と、今までにない「ニュースとの出会い体験」をお届けしてまいります。

(※) 本ソリューションの提供開始時期は2014年9月ごろを予定しています。

(図)

■ 「Yahoo!コンテンツディスカバリー」の仕組み

